

前立腺密封小線源永久挿入術を受ける患者さん・家族の方へ

患者さんパスシート (No.1)

ID		診療科	泌尿器科			
氏名		入院予定期間	入院日	年	月	日
生年月日			退院日(予定)	年	月	日

月 日	/
経 過	入院日(手術前日)
達成目標	<input type="checkbox"/> 手術、入院生活について理解しましょう。 <input type="checkbox"/> 麻酔について、理解しましょう
検 査	・午後1時~2時頃、麻酔科の診察があります。 それまでに、入院後にお渡しする「問診表」に記入しておいてください。
処 置	・手術当日に血栓予防のため、弾性ストッキングを履きますので、サイズを確認します。
薬 剤	・お薬を内服されている方は、お薬手帳と一緒にすべてお持ちください。 医師、薬剤師が確認し継続するかどうか確認します。  ・寝る前に下剤をお渡ししますので、内服してください。
食 事	・低残渣食がです。(消化の良い食事) ※食事制限がある方は、医師の指示により治療食となる場合があります。 ・寝る前夜の9時以降は食事はできません。 ・水分は夜12頃までは可能です。 
清 潔	・制限はありません。 シャワーで、清潔を保つようにしてください。
活 動	・制限はありません。
排 泄	・トイレに設置している、尿を入れるカメに尿をためてください。
説明指導	・看護師、クラークが入院生活の説明を行います。 ・看護師が、手術前後の処置や経過、手術に必要な物品について説明します。 【必要物品：①T字帯 ②浴衣 ③バスタオル 各1枚】  ・手術に関する同意書などの書類と、必要物品をお預かりいたします。

*このパスシートは診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査を決定するものではありません。

*なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時にはお知らせいたしますのでご了承ください。

日本医科大学付属病院 2024年 3月改定

前立腺密封小線源永久挿入術を受ける患者さん・家族の方へ

患者さんパスシート (No.2)

ID		診療科	泌尿器科			
氏名		入院予定期間	入院日	年	月	日
生年月日			退院日(予定)	年	月	日

月 日	/				
経過	入院2日目(手術当日)				
	手術前		手術後		
達成目標	□術前処置を受け、手術に臨みましょう。		□身体の苦痛がある場合、 我慢せずに伝えましょう。 □足を動かしたり、体の向きを変えましょう。		
検査	・特にありません。		・特にありません		
処置	・体温、脈拍、血圧を測ります。 ・血栓予防のため、弾性ストッキングを履きます。		・酸素吸入をします。(3~4時間程度) ・1時間毎に、検温を行います。(3~6時間) ・血栓予防の機械を両足に装着します。		
薬剤	・病院から処方された薬のみを内服します。		・翌朝まで点滴があります。		
食事	・食事、水分をとることはできません。		・手術3時間後より水分をとることができます。 ・手術当日は食事をとることはできません。		
清潔	・起きたら洗面、髭剃りをしてください。		・看護師が洗面の介助を行います。		
活動	・制限はありません。		・ベット上安静ですが、術後3時間後より、 体の向きを変えることができます。		
排泄	・尿をためてください。		・尿を排泄する、管が入っています。		
説明指導	・義歯、指輪、時計などは外していただきますが、 眼鏡、補聴器などは手術室まで装着できます。 その後ご家族にお返しします。 ・貴重品は、セーフティボックスに入れてください。		・痛みが強い、お腹が張る、尿の管の違和感 などの苦痛があれば、遠慮なくナースコールで お知らせください。 ・手術後は、麻酔や点滴、血栓予防の機械が足に 装着されているため、思うように体が動かせない ことや、点滴や管があやまって抜ける可能性 があります。体の向きを変えたい時は、ナース コールでお知らせください。 ・手術後は、放射線管理区域と設定されますので ご家族の方に、病室への入室方法をご説明いた します。		

*このパスシートは診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査を決定するものではありません。

*なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時にはお知らせいたしますのでご了承ください。

日本医科大学付属病院 2024年 3月改定

前立腺密封小線源永久挿入術を受ける患者さん・家族の方へ

患者さんパスシート (No.3)

ID		診療科	泌尿器科			
氏名		入院予定期間	入院日	年	月	日
生年月日			退院日(予定)	年	月	日

月 日	/	
経 過	入院3日目(手術後1日目)	入院4~5日目(手術2~3日目 {退院予定日})
達成目標	<input type="checkbox"/> 身体の苦痛がある場合、 我慢せずに伝えましょう。 <input type="checkbox"/> 看護師介助のもと、歩行しましょう	<input type="checkbox"/> 身体の苦痛がある場合、 我慢せずに伝えましょう。 <input type="checkbox"/> 退院後の生活をイメージしましょう。
検 査	<ul style="list-style-type: none"> 医師の診察終了後、レントゲンがあります。 * 医師の診察は午前中です。 	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません
処 置	<ul style="list-style-type: none"> 医師の診察時、尿の管を抜きます。 医師の診察後、血栓予防の機械を外します。 歩行開始後、弾性ストッキングを脱ぎます。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院当日、放射線科にて退院診察があります。
薬 剤	<ul style="list-style-type: none"> 今まで飲んでた薬を再開します。 朝のみ、抗生剤の内服があります。 朝から痛み止め、尿の出を良くする薬を開始します。 	<ul style="list-style-type: none"> 内服薬を継続して下さい。 
食 事	<ul style="list-style-type: none"> 朝から、普通食が開始となります。 	<ul style="list-style-type: none"> 普通食です。
清 潔	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が介助し、洗面身体拭き着替えを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> シャワー可能です。 
活 動	<ul style="list-style-type: none"> 医師の診察、放射線技師が放射線の影響が無い事を確認してから、病室を離れることができます。その後は制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 * 30分以上病室を離れる場合は、看護師にお知らせください。
排 泄	<ul style="list-style-type: none"> 病室内のトイレに設置してある、ネットを被せたカメの容器に尿をためてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院まで、病室内のトイレに設置してある、ネットを被せたカメの容器に尿をためてください。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院中は、線源の脱落の可能性がありますので、病室内のトイレに設置してある、ネットを被せたカメの容器に尿をためてください。 脱落線源を見つけた場合、直接お手を触れずに、看護師までお知らせください。 「ヨウ素125線線源永久挿入による前立腺がん小線源療法を受けた患者さんへ」のパンフレットを使用し、退院後の生活について説明致します。 退院後の生活に関する疑問・不安がある場合遠慮なく看護師に質問してください。 次回外来日の説明をいたします。 退院時に忘れ物がないよう荷物を整理しておきましょう。 保険などの書類は退院日に文書受付窓口(本館1階 入院玄関入口付近)に提出してください。 (ただし文書受付窓口は日曜・祝日は受付できません) 	

*このパスシートは診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査を決定するものではありません。

*なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時にはお知らせいたしますのでご了承ください。